

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 日本電信電話株式会社（証券コード:9432）

### 【据置】

長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- 国内最大手の総合通信会社グループを形成する持株会社。総合 ICT 事業（NTT ドコモ（ドコモ）など）、地域通信事業（東日本電信電話、西日本電信電話）、グローバル・ソリューション事業（エヌ・ティ・ティ・データなど）、その他（不動産、エネルギーなど）のセグメントを有する。地域通信では法律によってユニバーサルサービスの提供や光ファイバの他事業者への貸し出しなど様々な規制を受けている。20年12月に当社はドコモを完全子会社化した。22年1月にはドコモが NTT コミュニケーションズと NTT コムウェアを完全子会社化している。22年10月には NTT DATA, Inc.（持株比率エヌ・ティ・ティ・データ 55%、当社 45%）を設立し、海外事業分野を移管した。
- 主要サービスである携帯電話サービス、光アクセスサービスの国内シェアは業界トップであるなど、国内通信業界の最大手企業として強固な事業基盤に変化はない。総合 ICT 事業では、携帯電話の料金競争の影響を受けているが、契約数は増加し、解約率も低位で推移しており、法人事業、スマートライフ事業は順調である。地域通信事業では光アクセスサービスの顧客開拓が進んでいる。今後、ドコモグループでは3社の機能統合を進めることでさらなるシナジー効果が期待できるだろう。これらにより、当面高水準の利益は維持可能とみている。財務内容は一定水準を維持している。以上より、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 23/3期の営業利益は1兆8,200億円（前期比2.9%増）と過去最高を更新する計画である。足元、東日本電信電話、西日本電信電話では電気料金値上げがマイナス要因となっている。しかし、IT投資需要の増加を背景としたエヌ・ティ・ティ・データの好業績やドコモ、東日本電信電話、西日本電信電話を中心としたコスト削減の取り組みもあって、順調な利益が見込まれる。財務面では、ドコモ株式の取得に伴う資金負担により、有利子負債は増加し、有利子負債/EBITDA などの財務指標への影響が生じた。しかし、キャッシュフロー創出力は安定しており、一時的に影響を受けた財務内容は徐々に良化していくとみている。

（担当）千種 裕之・本西 明久

### ■格付対象

発行体：日本電信電話株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AAA	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年2月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「通信」(2022年6月15日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付の視点」(2003年7月1日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 日本電信電話株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル